

| 施策評価表 | | | 後期 «平成28年度～平成32年度» | |
|----------------------|----|------------------------------|--------------------|-------|
| 計後 画期 体基 系本 | 政策 | 2. 未来の担い手と共に育つまち【子ども】 | 施策統括課 | 学校教育課 |
| | 施策 | 6. 子どもが生き活きと学び、生きる力を育むまちをつくる | 関係課 | 社会教育課 |

1. めざそう値からみた達成度

| 成果指標 | 単位 | 基準値 | H28目標値 | 実績値の年次推移 | 判定 |
|------------------------------------|----|------|-------------|----------|----|
| | | 目標 | H28実績値 | | |
| 学校に行くのが楽しいと答えた 児童生徒の割合 【小学生】 | % | 82.2 | 82.2 より上 | | b |
| | | 87.4 | | | |
| 学校に行くのが楽しいと答えた 児童生徒の割合 【中学生】 | % | 84.2 | 84.2 より上 | | b |
| | | 80.5 | | | |

めざそう値達成度：a…目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない c…目標を達成していない

2. 取り組み方針の実施状況と方向性

| 6-1 学力向上と豊かな心を育てます | | | | | 所管課 | | | | | |
|--|----|----------------|----|-----|----------|-----|-----|-----|-----|----|
| 町民意識調査からみた重要度 義務教育 18位/28項目 | | | | | 学校教育課 | | | | | |
| 成果指標 | 単位 | 基準値 | 目標 | 区分 | 実績値の年次推移 | | | | | 判定 |
| | | | | | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | |
| 学校に行くのが楽しいと答えた 児童生徒の割合 (全国学力・学習状況調査) | % | 小82.2 中84.2 | ↑ | 目標値 | 小83.1 | - | - | - | - | × |
| | | | | | 中84.2 | - | - | - | - | |
| 全国学力・学習状況調査で 全国平均をうわまっした学校数 | 校 | 3 | 6 | 実績値 | 小87.4 | - | - | - | - | ○ |
| | | | | | 中80.5 | - | - | - | - | |
| 運動をしていると答えた 児童生徒の割合 | % | 小97.5 中85.3 | → | 目標値 | 小97.5 | - | - | - | - | × |
| | | | | | 中85.3 | - | - | - | - | |
| 「自分には良いところがある」と答えた 児童生徒の割合 | % | 小73.8 中66.0 | ↑ | 目標値 | 小80.8 | - | - | - | - | ○ |
| | | | | | 中70.7 | - | - | - | - | |
| | | | | | 小84.4 | - | - | - | - | |
| | | | | | 中72.7 | - | - | - | - | |
| | | | | | 成果指標総合判定 | | | | | |
| | | | | | B | | | | | |

成果指標達成度：○…目標を達成している ×…目標を達成していない

成果指標総合判定：A…成果指標判定がすべて○、B…半数以上が○、C…半数未満が○

| | |
|--------------|---|
| まちが取り組むべきこと① | 「授業づくり」、「集団づくり」、「習慣づくり」の3つの柱から学力向上に取り組めます |
| 主な取り組み状況 | 先進校視察や学力調査の結果を踏まえ、各小中学校における課題を分析した学力向上推進プランを策定。授業づくり、集団づくり、習慣づくり（新スリーアップ運動）により指導体制や指導方法の改善に取り組んだ。 |
| 課題 | ・児童生徒の学力格差 ・教員の実践的指導力の向上課題 ・全国平均を下回っている学校がある |
| H30取り組み方針 | 学力向上のため、取組みの検証及び分析を行い、引き続き指導体制や指導方法の改善に取り組む。また教職員研修の充実を図る。 |
| まちが取り組むべきこと② | 一人ひとりの課題に応じた少人数指導や補充学習、習熟度別学習等の充実をはかります |
| 主な取り組み状況 | 学級補助員を各学校に配置し、児童生徒の個に応じた授業内容の充実を図るために、少人数指導や習熟度別学習に取り組んだ。 |
| 課題 | ・学校のニーズに応じて配置するには人員が不足 ・学級補助員の実践的指導力の向上 |
| H30取り組み方針 | 学級補助員を各校に適正な配置を実施し、児童生徒の個に応じた授業内容の充実を図るために、事業実施計画を策定し、少人数指導や習熟度別学習に取り組む。学級補助員の指導力の向上のため、研修を実施する。 |

| | | |
|---|--|---|
| まちが取り組むべきこと③ | | 志免町子ども読書活動推進計画に基づき、読書に親しむ態度の育成につとめます |
| 主な取り組み状況 | | 志免町子ども読書活動推進計画に基づき、小学生読書リーダー養成講座、中学生読書サポーター養成事業、14歳の14冊事業の実施。読書週間や読書月間等の学校での活動の支援等（ボランティア派遣、本の手配等）。 |
| 課題 | | なし |
| H30取り組み方針 | | 引き続き、志免町子ども読書活動推進計画の4つの基本方針の推進に努める。 |
| まちが取り組むべきこと④ | | 地域の教育資源を活用した教育活動を推進します |
| 主な取り組み状況 | | 地域の方々による赤ペン先生や丸つけボランティアの協力。学校行事の際、志免町スポーツ推進委員に協力を依頼している。 |
| 課題 | | ボランティア等の人員不足 |
| H30取り組み方針 | | 引き続き、地域・志免町スポーツ推進委員の方々に教育活動への協力をお願いする。 |
| まちが取り組むべきこと⑤ | | 国際化に対応する国際教育や外国語教育の充実をはかります |
| 主な取り組み状況 | | 小中学校に外国語指導助手（ALT）を配置し、英語によるコミュニケーション能力の育成や国際理解教育の推進に取り組んだ。教員の英語指導力向上のため、各英語教育に関する研修会への参加を奨励した。 |
| 課題 | | ・教員の英語指導力向上課題 ・次期学習指導要領に向けた小学校の体制づくり |
| H30取り組み方針 | | 引き続き、異文化交流や英語活動・英語教育の充実をはかるため、次期学習指導要領を考慮し、小中学校にALTを派遣する。教員の英語指導力向上のため、各英語教育に関する研修会への参加を奨励する。 |
| 取り組み方針の達成状況 | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている <input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施したが、成果があがっていない <input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施できず、成果があがっていない | | |
| 30年度の取り組み方針の方向性 | | <input type="checkbox"/> 重点 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> その他 |

| 6-2 安全で快適な教育環境を整えます | | | | | | 所管課 | | | | |
|--|----|------|-------|-----|----------|----------|-----|-----|-----|----|
| 町民意識調査からみた重要度 義務教育 18位/28項目 | | | | | | 学校教育課 | | | | |
| 成果指標 | 単位 | 基準値 | 目標 | 区分 | 実績値の年次推移 | | | | | 判定 |
| | | | | | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | |
| 小学校の耐震化率 | % | 95.8 | 100.0 | 目標値 | 100.0 | - | - | - | - | ○ |
| | | | | 実績値 | 100.0 | - | - | - | - | |
| 成果指標達成度：○…目標を達成している ×…目標を達成していない | | | | | | 成果指標総合判定 | | | | |
| 成果指標総合判定：A…成果指標判定がすべて○、B…半数以上が○、C…半数未満が○ | | | | | | A | | | | |

| | | |
|---|--|--|
| まちが取り組むべきこと① | 安全で快適な学校生活が送れるよう、施設整備の充実をはかります | |
| 主な取り組み状況 | 志免東中学校体育館の耐震補強・大規模改修工事を行った。 | |
| 課題 | なし | |
| H30取り組み方針 | 志免町全ての小中学校校舎、体育館の耐震補強・大規模改修工事が終了した。また、29年度は全ての小中学校にエアコンを設置し、快適な学校生活が送れるよう施設整備の充実を図っているところである。引き続き、安全で快適な学校生活が送れるよう、施設整備の充実を図る。 | |
| 取り組み方針の達成状況 | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている <input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施したが、成果があがっていない <input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施できず、成果があがっていない | | |
| 30年度の取り組み方針の方向性 | <input type="checkbox"/> 重点 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> その他 | |

| 6-3 いじめや不登校への対応を充実させます | | | | | | 所管課 | | | | |
|--|----|------------------|----|-----|------------------|----------|-----|-----|-----|----|
| 町民意識調査からみた重要度 アンケート結果なし | | | | | | 学校教育課 | | | | |
| 成果指標 | 単位 | 基準値 | 目標 | 区分 | 実績値の年次推移 | | | | | 判定 |
| | | | | | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | |
| 不登校児童生徒の割合 | % | 小0.23 中4.26 | ↓ | 目標値 | 小0.23 中3.32 | - | - | - | - | × |
| | | | | 実績値 | 小0.29 中3.80 | - | - | - | - | |
| いじめ・不登校の対応率 | % | 小100.0 中100.0 | → | 目標値 | 小100.0 中100.0 | - | - | - | - | ○ |
| | | | | 実績値 | 小100.0 中100.0 | - | - | - | - | |
| 成果指標達成度：○…目標を達成している ×…目標を達成していない | | | | | | 成果指標総合判定 | | | | |
| 成果指標総合判定：A…成果指標判定がすべて○、B…半数以上が○、C…半数未満が○ | | | | | | B | | | | |

| | | |
|--------------|--|--|
| まちが取り組むべきこと① | いじめ・不登校問題を中心とする生徒指導上の諸問題の解決に向けた学校間の連携をはかります | |
| 主な取り組み状況 | 中学校区を単位として、9年間をひとまとまりと考えた教育活動を展開し、小中連携実践交流会を実施し、情報交換を行うことで、中学校への進学時等において、必要があれば、児童生徒一人一人の実態を把握できるように取り組んだ。 | |
| 課題 | 学校間で生徒指導内容について異なる部分がある。 | |
| H30取り組み方針 | 中学校区を単位として、児童生徒の個別の情報共有にとどまらず、学習支援の体制や生徒指導の体制の共有化を図るため小中連携実践交流会を行う。 | |
| まちが取り組むべきこと② | 各中学校に心の教室や不登校支援教室を設置し、スクールカウンセラーや町のスクールソーシャルワーカー、教育相談員、学級補助員等を配置することで、いじめ・不登校問題等の早期発見と個別的な対応の充実をはかります | |
| 主な取り組み状況 | 各中学校に心の教室や不登校支援教室を設置。教室には入れないが学校には登校できる生徒に個別的な対応を行ったり、教育相談員等を週一回、各中学校に派遣して気軽に相談できるような体制をつくり、いじめ・不登校問題等の早期発見に取り組んだ。 | |
| 課題 | 不登校傾向の段階から早期に対応を行っているが、不登校児童生徒の人数が横ばいで推移している。また長期化する不登校児童生徒の場合、全体的に復帰する割合が低い | |
| H30取り組み方針 | 不登校対応の学級補助員を中学校に配置し、復帰の第一段階として校内サポート教室の運営を行う。教育相談員、スクールソーシャルワーカーと学校の情報共有を図り家庭への介入や個別の相談等を行い不登校児童生徒への支援を行う。 | |

| | | |
|---|--|---|
| まちが取り組むべきこと③ | | 教育委員会の教育相談室にスクールソーシャルワーカーを配置し、保護者や児童生徒の様々な問題に対応するための関係機関と連携した教育相談体制の充実をはかります |
| 主な取り組み状況 | | 教育委員会の教育相談室にスクールソーシャルワーカーを配置し、保護者や児童生徒の相談等に対応した。様々な相談・問題について、関係機関と連携して問題解決に取り組んだ。 |
| 課題 | | ・相談件数の増加 ・相談内容の複雑化・多様化 ・相談体制の時間的、人的制約がある |
| H30取り組み方針 | | 引き続き、教育委員会の教育相談室にスクールソーシャルワーカーを配置し、保護者や児童生徒の様々な問題に対応するための関係機関と連携した教育相談体制の充実に取り組む。 |
| まちが取り組むべきこと④ | | 各中学校の校内生徒指導委員会に教育相談員等を派遣し、生徒指導上の諸問題の実態把握と学校や教職員を対象とした支援を行い、生徒指導のサポート体制をつります |
| 主な取り組み状況 | | 各中学校の校内生徒指導委員会に教育相談員等を派遣し、生徒指導上の諸問題の実態把握と学校や教職員を対象とした支援を行い、生徒指導のサポート体制の確立に取り組んだ。 |
| 課題 | | 生徒指導の諸問題の対応件数の増加。 |
| H30取り組み方針 | | 各中学校の校内生徒指導委員会に教育相談員等を派遣し、早期の段階で実態を把握することに努め、生徒指導のサポート体制の確立に取り組む。 |
| まちが取り組むべきこと⑤ | | 学校生活に関するアンケートを実施して現在の学級の状況を把握し、不登校の未然防止や改善・解消に役立てます |
| 主な取り組み状況 | | 学級（集団）における児童生徒の満足度、不安度などを把握するためQ Uテストを実施し、その結果を学級経営等に反映させた。そのテスト結果の活用方法について教職員に対する研修（テスト実施前後）を行った。 |
| 課題 | | 新スリーアップ運動の一つの柱である「集団づくり」の具体的な取り組み |
| H30取り組み方針 | | 学級（集団）における児童生徒の満足度、不安度などが把握できるQ Uテストを基に学級経営等に反映させる。また、それだけでなく学年単位や学級単位で改善する取り組みを具体化させ第2回のQ Uテストで検証する。 |
| 取り組み方針の達成状況 | | |
| <input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施したが、成果があがっていない <input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施できず、成果があがっていない | | |
| 30年度の取り組み方針の方向性 | | <input type="checkbox"/> 重点 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> その他 |

| 6-4 学校・地域・家庭が連携しまちの教育力を高めます | | | | | 所管課 | | | | | |
|--|-----|-------------------|----|-----|---------------|-----|-----|-----|-----|---------------|
| 町民意識調査からみた重要度 アンケート結果なし | | | | | 学校教育課 | | | | | |
| 成果指標 | 単位 | 基準値 | 目標 | 区分 | 実績値の年次推移 | | | | | 判定 |
| | | | | | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 | |
| 職場体験学習の受入れ事務所等の数 | 事業所 | 志免中 72 東中35 | ↑ | 目標値 | 志免中72 東中35 | - | - | - | - | × |
| | | | | 実績値 | 志免中69 東中35 | - | - | - | - | |
| 成果指標達成度：○…目標を達成している ×…目標を達成していない | | | | | | | | | | 成果指標総合判定 C |
| 成果指標総合判定：A…成果指標判定がすべて○、B…半数以上が○、C…半数未満が○ | | | | | | | | | | |

| | | |
|--------------|--|--|
| まちが取り組むべきこと① | | 保護者への家庭教育に関する学習機会を充実させます |
| 主な取り組み状況 | | 家庭教育推進のため町小・中学校PTA連絡協議会へ補助金を交付。また、青少年問題協議会や青少年健全育成講演会への参加を促し、青少年の健全育成に関する学習の機会を提供している。 |
| 課題 | | なし |
| H30取り組み方針 | | 引き続き家庭教育推進のため町小・中学校PTA連絡協議会への補助金交付。青少年問題協議会や青少年健全育成講演会への参加を促し、青少年の健全育成に関する学習の機会を提供を行う。 |
| まちが取り組むべきこと② | | 「土曜授業」を実施し、学力向上及び家庭・地域との連携強化をはかります |
| 主な取り組み状況 | | 土曜日授業を年4回行い、学力向上及び家庭・地域との連携強化を図った。 |
| 課題 | | 保護者だけでなく地域の方の参加を促す |
| H30取り組み方針 | | 「土曜授業」を実施し、学力向上及び家庭・地域との連携強化をはかる。 |

| | |
|---|---|
| まちが取り組むべきこと③ | 各学校の学校関係者評価委員会において、学校運営の改善が適切に行われるよう学校評価を実施し、結果を公表します |
| 主な取り組み状況 | 各学校の学校関係者評価委員会を設置し、学校運営の改善が適切に行われるよう学校評価を実施するとともに、各学校の自己評価や学校関係者評価の結果を町ホームページ等で公表した。 |
| 課題 | 地域や家庭に周知が進んでいない |
| H30取り組み方針 | 各学校の学校関係者評価委員会を設置し、学校運営の改善が適切に行われるよう学校評価を実施するとともに、各学校の自己評価や学校関係者評価の結果を町ホームページ等で公表する。 |
| まちが取り組むべきこと④ | 読書ボランティアによる読み聞かせ活動、高齢者の活用など地域人材による教育活動の充実をはかります |
| 主な取り組み状況 | 町民図書館ボランティア団体による中学校への本の読み聞かせ活動及び小学校区ボランティア団体による小学校への本の読み聞かせ活動を実施してもらっている。 |
| 課題 | ボランティア団体への協力者が増えず、人員が不足している。 |
| H30取り組み方針 | 引き続き町民図書館ボランティア団体による中学校への本の読み聞かせ活動及び小学校区ボランティア団体による小学校への本の読み聞かせ活動を実施する。また、ボランティア団体の人員募集について周知を行う。 |
| 取り組み方針の達成状況 | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている <input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施したが、成果があがっていない <input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施できず、成果があがっていない | |
| 30年度の取り組み方針の方向性 | <input type="checkbox"/> 重点 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> その他 |

3. 施策の総括と今後の展開

学校に行くのが楽しいと答えた児童生徒の割合は小学生は増加しているが、中学生が減少しているため、今後も新スリーアップ運動の推進を強化し、小中学校ともに増加するよう取り組む必要がある。また不登校の児童生徒数が目標値に達しておらず、教育相談室運営事業の充実を図りたい。

4. 施策の進行状況

- 目標に向かって順調に進んでいる
 目標に向かってある程度順調に進んでいる
 目標に向かってあまり進んでいない
 目標に向かって進んでいない